

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公表番号】特表 2002-521900 (P2002-521900A)

【公表日】平成 14 年 7 月 16 日 (2002.7.16)

【出願番号】特願 2000-561615 (P2000-561615)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/85 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

H 0 4 N 5/85 Z

H 0 4 N 5/92 H

H 0 4 N 5/91 P

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 21 日 (2006.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 蓄積メディアに蓄積された情報を処理するシステムを制御する方法であって、

(A) ユーザの入力に応答して、前記システムに関連付けられた格付け限度の選択をユーザに可能にするシステム設定メニューを生成するステップと、

(B) 前記蓄積メディアに蓄積されたプログラムが再生中である再生動作モードのユーザの選択に応答して、再生中の前記選択されたプログラムの一部が前記システムに関連付けられた第 1 の格付け限度と異なる格付けを有するプログラム情報を含んでいるかどうかを判定するステップと、

(C) 前記再生動作モードの選択に応答し、前記プログラムの前記一部に含まれている情報の前記格付けが前記第 1 の格付け限度と異なるという判定に応答して、前記システム設定メニューを使用することなく、前記第 1 の格付け限度をオーバーライドすべきかどうかを選択する機会をユーザに与えるステップと、

(D) 前記第 1 の格付け限度をオーバーライドするユーザの選択に応答して、前記第 1 の格付け限度を第 2 の格付け限度に変えて、前記プログラムの前記一部の再生を可能にするステップと、

を含む、前記方法。

【請求項 2】 再生動作モードの期間にユーザの格付け限度変更がイネーブルされたかどうかを判定するステップが、前記ステップ (B) に先行する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 蓄積メディアに蓄積された情報を処理する装置であって、
前記装置の再生動作モードの期間に、前記蓄積メディアに蓄積された情報にアクセスする手段と、

前記再生動作モードを起動し、前記再生動作モードのユーザの選択に応答して、前記蓄積メディアからのアクセスされた情報を処理して、再生中の前記プログラムの一部が前記装置に関連付けられた第１の格付け限度と異なる格付けを有するプログラム情報を含んでいるかどうかを判定し、前記プログラムのユーザの選択に応答して、前記システム設定メニューを使用することなく、前記プログラムの前記一部の格付けが前記第１の格付け限度と異なるという判定に応答して前記第１の格付け限度をオーバーライドすべきかどうかを選択する機会をユーザに与え、ユーザが前記格付け限度をオーバーライドすることを選択した場合に、前記プログラムの前記一部の再生が完了したときに前記装置の格付け限度を前記第１の格付け限度に戻す手段と、
を具える、前記装置。